

スライド 1

改めまして皆様こんにちは。本日はこのような貴重な機会をいただきまして誠にありがとうございます。株式会社ルネサンスの沖村と申します。本日は、私たちルネサンスというスポーツクラブが、地域包括ケアの推進、進化にどのように関わらせていただいているかという点をお話させていただければと思います。

スライド 2

前半、沖村より会社の概要等を御説明いたしまして、後半は麻生区に店舗を構えます、ルネサンス五月台の支配人の大庭より実際の取組事例についてお話をいたします。どうぞよろしく願いいたします。それでは、着座にて失礼いたします。

スライド 3

まず、私の自己紹介を簡単にさせていただきます。私は、関東圏の自治体様と連携を図りながら、地域の課題解決に向けた取組を進めさせていただいております。私事で大変恐縮ですが、つい3日前に結婚を機に麻生区に転入してまいりまして、公私ともに川崎市を盛り上げるぞということで、今日この場にお招きいただいたことを大変光栄に思っております。どうぞよろしく願いいたします。

スライド 4

私どもルネサンスでございますが、生きがい創造企業というのを基本理念にしております。スポーツクラブを事業の中心と構えながら、スポーツクラブというのはまだまだ参加率が低くて人口の約3%から4%ほどと言われております。スポーツクラブに来られる方はもちろんですが、クラブにいらっしゃっていない、それ以外の地域の皆様全てに健康づくりをお届けしていきたい、そんな想いを持って多角的な事業展開を進めております。

スライド 5

人生 100 年時代を豊かに生きるための健康ソリューションカンパニーとして、実際にお子様から高齢期まで、ライフコースに沿った健康づくりを提供させていただいております。

スライド 6

現在、ルネサンスは日本全国に約 296 施設ございまして、その拠点の機能を活用しながら、地域の皆様の健康づくりに取り組んでいるところでございます。

スライド 7

自治体の皆様との連携した健康づくりにおきましては、昨年度末までの実績でございますが、320 自治体、そして 15,000 教室以上の実績がございます。全国の自治体様とお話をし

ながら事業を進めていますと、地域ごとの課題って本当に多様化していて様々だなというふうに思っております。その地域に根差した事業の推進というのをとても大事に考えておきまして、この地域課題、地域ごとの特性に応じた事業展開を今進めているところでございます。

スライド 8

川崎市様にも、今、指定管理施設を含めると全部で6の拠点がございまして、今日は地域包括ケアの進化というテーマの下でございしますが、このような機会をいただきましたので、是非また行政、多様な主体の皆様とも連携しながら、この川崎市の地域課題の解決に向けて、より一層連携を図っていければと考えている所存でございします。

スライド 9

私たちは、ライフコースに沿った健康づくりということで、様々な年代の方に向けた健康づくりサービスをお届けしておりますが、まさにこの地域包括ケアシステムの土台にもなる予防のところ、先ほどの紀伊先生のお話でもありましたが、介護予防事業というのを我々も今、進めております。地域包括ケアシステムの進化には、やはり予防が効果的に機能していくことが非常に重要であると考えておきまして、介護予防事業の効果が最大化するために行っている象徴的な取組を2点ほど御紹介できればと思っております。

スライド 10

まず、事業の入口部分に当たりますが、介護予防事業の参加率は、やはり全国的にもまだ低く、男性の参加率は特に課題となっている地域も多くあるのではないのでしょうか。ここの参加率、より多くの方に事業に参加をしていただくために行っている事例としまして、広島県の福山市さんの事例になります。PFS方式で実施している事業になるんですけれども、御覧いただいているとおりで、介護予防っぽくない、ドローンを使っていたりですとか、あとは地元サッカーチームに連携をしてもらいながら、福山シティFCと連携したウエルネススクールであったり、コーヒーの淹れ方教室のような介護予防っぽくないものをコンテンツとしながら教室の方を進めております。こういった、介護予防っぽくない見せ方、コンテンツを進めていくことによって、男性の参加率はもちろんですけれども、前期高齢者の参加が非常に多くなったりですとか、非常に介護予防効果としては、今、効果的な状態で進めております。

特徴的なのが、例えばコーヒーの淹れ方教室ですと、講師の方を地元の喫茶店のオーナーの方をお願いをしたりしています。この地元の商店の方に関わっていただくことによって、この教室が終わった後も、その喫茶店に皆様が集うようなコミュニティの場がそこで形成できたりですとか、卒業されてからもその喫茶店のファンになられて、週に何回もコーヒー飲みに行くなんていうお話もあってですね、産業振興にもちょっと一役買っているような、

副次的な効果もある事業になっております。

スライド 11

こういった事業を入口としながら、介護予防で特に大事なものは、やはり住民の主体性であると思っております。介護予防の出口部分を住民主体の状態に作り上げていくということを目指して実施しておりますもう一つの事例が、福岡県の川崎町様ですね。同じ川崎ですけれども、人口規模が全く違う自治体様ではあるんですが、川崎町様も最初私たち関わらせていただいて、今年で4年目になるんですが、最初の年度は介護予防とかいったところは行政主導で行うものという地域の方たちの意識というのが根強くあって、行政が企画して主導していくものを利用していくというような意識をお持ちでいらっしゃいました。そこに我々関わらせていただいて、介護保険の制度のこととか、4分の1は皆さん自身が御負担されているといったお話だったりですとか、次世代に向けて、この介護保険の制度がどうあるべきかということ、地域住民の方々と対話を繰り返していくことによって皆様の意識が少しずつ変わっていております。

こういった住民主体と呼ばれる介護予防は、結構、固定のリーダーの方を作って、リーダーの方たちを中心に運営されていくようなことがスタンダードかと思うんですけども、リーダー役を決めずに皆さん一人一人が小さなリーダー役を行うという、本当に一人一人が役割を持っている状態というのを作り上げていきました。そうすることによって、地域の皆様の主体性というのがどんどん発揮されていって、何かコメントでも、次世代にこの介護保険の制度を健全な状態で残していきたいみたいなコメントをいただくことができたりとか、本当に地域の皆様が地域のことを自分事と捉えて、自主的な通いの場というのが運営されている状態でございます。

今、約15の地区で通いの場というのが順調に、今、進んでいるというそんな事例でございます。

スライド 12

スライド 13

先ほど、自助と互助のお話もございましたが、こういった事業を通じて、自助の意識、互助の意識が非常に高まっています、私たちの介護予防はただの教室一つの運営だけではなく、こういう地域包括ケアの進化に資するものであるべきと考えておりますので、我々介護予防をこんな意識で今取り組ませていただいております。

スライド 14

事業の入口から出口部分ですね。地域包括ケアの進化につながる事業運営を、全国各地で進めさせていただいております。

スライド 15

今、介護予防事業をテーマにお話しいたしましたが、スポーツクラブがもっと地域に開かれた場になって、地域の課題解決に資する場である状態を作り上げていきたいと思っております。先ほどの紀伊先生の商助の部分もそうですけれども、今日のこの場を起点により一層皆様との連携を図りながら、地域の課題解決の拠点として進めていければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

スライド 16

スライド 17

スライド 18

この後、実際に麻生区にございます、ルネサンス五月台のこれまでの取組についてお話をさせていただきます。

それでは、ここで大庭にバトンタッチをしたいと思います。

スライド 19

御紹介にあずかりました、スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス五月台の支配人をしております、大庭と申します。この度は貴重なお話の場を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。僭越ながら、私からは地域の健康課題に向けた五月台クラブの取組をお話しさせていただきたいと思っております。正確にお話しさせていただくために、手元の資料を確認しながらお話しさせていただきたいと思っております。着座にて失礼いたします。

スライド 20

まず初めに、簡単に五月台クラブの紹介をさせていただきたいと思っております。五月台クラブは、小田急新百合ヶ丘駅より小田急多摩線に乗り換えて、一駅離れた五月台に構えております。クラブはオープンより5年が経ち、24時間総合型スポーツクラブとして成人様向けのフィットネスジム、スタジオプログラム、プール、サウナスパ等を提供させていただきまして、お子様向けにもスイミングやダンスといったスクールも展開させていただいております。

スライド 21

昨年7月には大型リニューアルをさせていただきまして、地域の方々にとって運動する場だけではなく、一つのコミュニティの場として活用いただき、健康や運動からウェルビーイングを感じる空間づくりを大切に運営させていただいております。

スライド 22

オープン時より、クラブのコンセプトとして「地域の生きがいステーション」を掲げて運営をさせていただいております。川崎市様とゆかりのある伝説のプロレスラー、アントニオ猪

木さんが残した言葉、「元気があれば何でもできる」という言葉がありますが、元気・健康であるから人はどんなことにもチャレンジできる、成長でき、人生豊かになるための原動力として大切なものであると、私もこの職についてより実感しております。五月台クラブでは、子どもから大人まで、地域の方々が健康で元気に笑顔で過ごすために、健康、楽しみ、癒しなどを提供し、居心地の良い健康空間を目指しております。

スライド 23

その先には、麻生地域の健康、元気の源として伴走する役割となり、地域貢献につなげていきたいと思っております。五月台クラブが構える川崎市様、麻生区様は、未来を見据えた 100 年時代に備えるための様々な健康推進の取組、そして麻生区様は、健康長寿日本一など健康を大切に推進されている街であると実感しております。沖村からも紹介させていただきました、弊社が培ってきたノウハウを生かし、人生 100 年時代に向けて、スポーツクラブだからこそできる地域の健康課題へ貢献できることはないかを考えております。

スライド 24

そこで、地域に出向く際に自治体様や企業様にお話をさせていただく中で、地域の健康につながるための取組をされている自治体様、企業様がたくさんいらっしゃることに気付かせていただきました。その中で、地域を健康に、元気にしていくために何かできることはないかとお話を重ねる中で、地域の方々が気軽に参加でき、健康に触れ、未来について考えられる機会を創出したいと、初めての試みで、地域、自治体様、企業様が集結して行う健康イベント「あさお地域健幸フェスタ」の開催に至りました。

スライド 25

「あさお地域健幸フェスタ」の開催に当たり、大切にしたい趣旨が二つございます。一つ目は、自治体様、企業様との連携による健康ネットワークの確立です。川崎市様、麻生区様の健康課題に対し、健康支援をテーマにした事業やヘルスケア活動を連携し、様々な視点で地域全体を元気で活気ある街へ導く機会を創出すること。また、弊社一つのクラブだけではなく、同じ思いを持った自治体様、企業様と連携、連動することで、大きな面として地域の価値となる健康ネットワークを構築することができると考えました。

スライド 26

二つ目は、川崎市様の目指す姿に賛同し、街と一体化していきたいと思っております。川崎市市制 100 周年記念事業として掲げられた「Colors, Future! Actions」の一環として記載している三つを中心に、街が掲げる未来の姿に私たちの強みを生かしてできることを自ら考え、行動し、チャレンジし続けることが地域貢献につながると考えております。

スライド 27

その趣旨をコンセプトに開催いたしました「あさお地域健幸フェスタ」を御紹介させていただきます。開催場所は当クラブの施設を使い、各エリアに賛同いただいた団体様のブースを設置して、名のとおりフェスタとして各団体様が健康につなげるために大切に取り組まれている内容を1日でたくさん触れていただきたいと思います。運動するレッスンから相談ブース、講話、体験など、様々な視点で楽しみながら健康を考えていただく時間をと、主催のイベント団体様と話し合い、協力し合いながら準備を進めてまいりました。御賛同いただいた自治体様、企業様は記載のとおりとなります。

スライド 28

初めての試みということもあり、まだまだ課題がございますが、賛同いただいた自治体様、企業様の御協力があってこそ、現在まで2回を開催させていただいております。

スライド 29

第1回目は124名の方に御来場いただきました。ブースでは、パルシステム様が定期的で開催していただいている健康マージャンを始め、聖マリアンナ医科大学様が推進されている乳がん検診の相談・体験ブースの御提供、片平地域包括支援センター様には福祉介護相談ブースの御提供、川崎フロンターレフロンタウン生田様にはポールウォーキングやサーフヨガレッスンを御提供いただきました。

スライド 30

第2回目では92名の方が御来場いただき、1回目につき、麻生区役所様と連携させていただいている健康長寿日本一支援事業として、ロングライフコンディショニングを弊社担当トレーナーがレッスンを行ったり、麻生リハビリ総合病院様にはロコモ・フレイル予防推進として体操や講話をしていただきました。今回、2回目の目玉としましては、麻生運動普及推進員の方にお越しいいただき、麻生区様で愛されている「かがやいて麻生ストレッチ体操」をジムエリアの真ん中で、御来場者様だけではなく、賛同団体様も一緒に大勢で体操をさせていただきました。

スライド 31

「あさお地域健幸フェスタ」の開催から、価値につながる3つの経験ができました。一つ目は、地域住民の方々と直接接する機会を創出することで、直接、健康の悩みや不安を聞くことができ、地域住民の目線でできることを考えるきっかけやヒントを得ることができました。その声が街を元気にしていくための原動力となっております。二つ目は、自治体様、地域企業様との連携を構築することで、私たちだけでは成し得ない健康課題を、このネットワーク体制が無限の健康価値へとつなげ、同じ思いや目的を共創し、

伴走していくことが、健康課題解決によりつながっていくと感じております。

三つ目は、私たちは健康で元気な人を増やしていくことが使命であるからこそ、トライアンドエラーで健康の輪を広げるためにチャレンジしていくことが重要と捉えております。

このような活動を推進していく先に、地域の健康と元気を派生する伴走者として、さらに存在意義を高めていかなければならないと感じました。

スライド 32

まだまだ少しずつではございますが、「あさお地域健幸フェスタ」の事例や働きかけを通じて、地域貢献につなげるための事業や取組も推進させていただいております。

川崎市様では今年度より川崎 TEKTEK の協賛をさせていただき、会員様向けに推進したり、高齢者向けのいこい元気広場を施設内で実施しております。

麻生区役所様にはヘルスケア事業を中心に様々な取組にお声掛けいただきまして、記載のとおり、レッスンや講師として講座を担当させていただいております。また、健康事業だけではなく、地域の方々が安心・安全で過ごすために防災にも弊社全体で取り組んでおり、災害時の施設提供や災害に備えるための健康、体力推進として、新百合ヶ丘で開催された備えるフェスタや上麻生東町内会が主催する自主防災訓練にも参加させていただきました。

スライド 33

最後になりますが、ルネサンス五月台が目指す姿といたしまして、地域の皆さんがこの街でいつまでも元気で安心して過ごせるように、地域の伴走者として、住民や地域の自治体様、企業様と歩み続ける存在になっていきたいと思っております。現時点では、まだまだできていないこともございますが、川崎市様の未来につなげるために、健康を軸に地域に足を運び、一つ一つの課題や可能性に真摯に向き合う中でチャレンジしていきたいと思っております。地域を元気にしていくために、是非この機会に皆様と御一緒に取り組ませていただければ幸いです。

御清聴いただきまして誠にありがとうございました。